

第 22 回小学校英語教育学会 (JES) 四国・徳島大会をふりかえって

四国理事を含む徳島大会実行委員が最初に会したのが 2021 年 8 月 30 日だったと記憶しています。このときは「徳島大会は対面で行いましょう」と意気込んでいました。しかし、2022 年 2 月を前にコロナ感染者数が急激に増え、そして、これまでの周期を踏まえると、この次の波は 7 月あたりではないかと予想できたため、対面開催を諦めました。皆様と直接お会いできることを活力に準備をしていただけたことでも残念でした。しかし徳島大会は待つはくれません。気持ちを切り替え、オンライン開催に向けて、日々の業務に追われながら、急ピッチで準備を進めました。会議のたびに問題や課題にぶつかり、「本当にうまくいくのだろうか」と 2022 年 7 月 18 日の閉会式を終え、Zoom の「退室」ボタンをクリックするまでプレッシャーの連続でした。

このような中で迎えた第 22 回小学校英語教育学会 (JES) 四国・徳島大会でしたが、2 日間で 1,000 人を超える参加をいただきました。基調講演、シンポジウム、ワークショップ、授業研究、課題研究で登壇いただきました先生方に心よりお礼申し上げます。また自由研究では 80 本の発表がありました。自由研究発表の多さ、そして、それぞれの質の高さが徳島大会をさらに盛り上げていただきました。重ねてお礼申し上げます。

オンライン開催のため様々な制約があり、少なからずのご不便を与えてしまったことにお詫び申し上げます。しかし、皆様のご理解とご協力のおかげで二日間の大会を無事乗り切ることができました。アンケートを通してお礼や労いのお声を寄せていただきました皆様、実行委員一同、皆様のお声に胸をなでおろしております。またご意見やご批判も頂戴しております。これらは京都大会実行委員の皆様へ丁寧に引き継ぎたいと思っております。

最後になりますが、ご参加いただきました皆様の日頃の授業実践や研究に徳島大会が少しでも貢献できたのなら、私たち実行委員はこの上ない喜びです。

来年、京都大会でお会いできることを楽しみにしております。

第 22 回小学校英語教育学会四国・徳島大会
実行委員長 Mark G. Fennelly (四国大学)
徳島大会実行委員一同